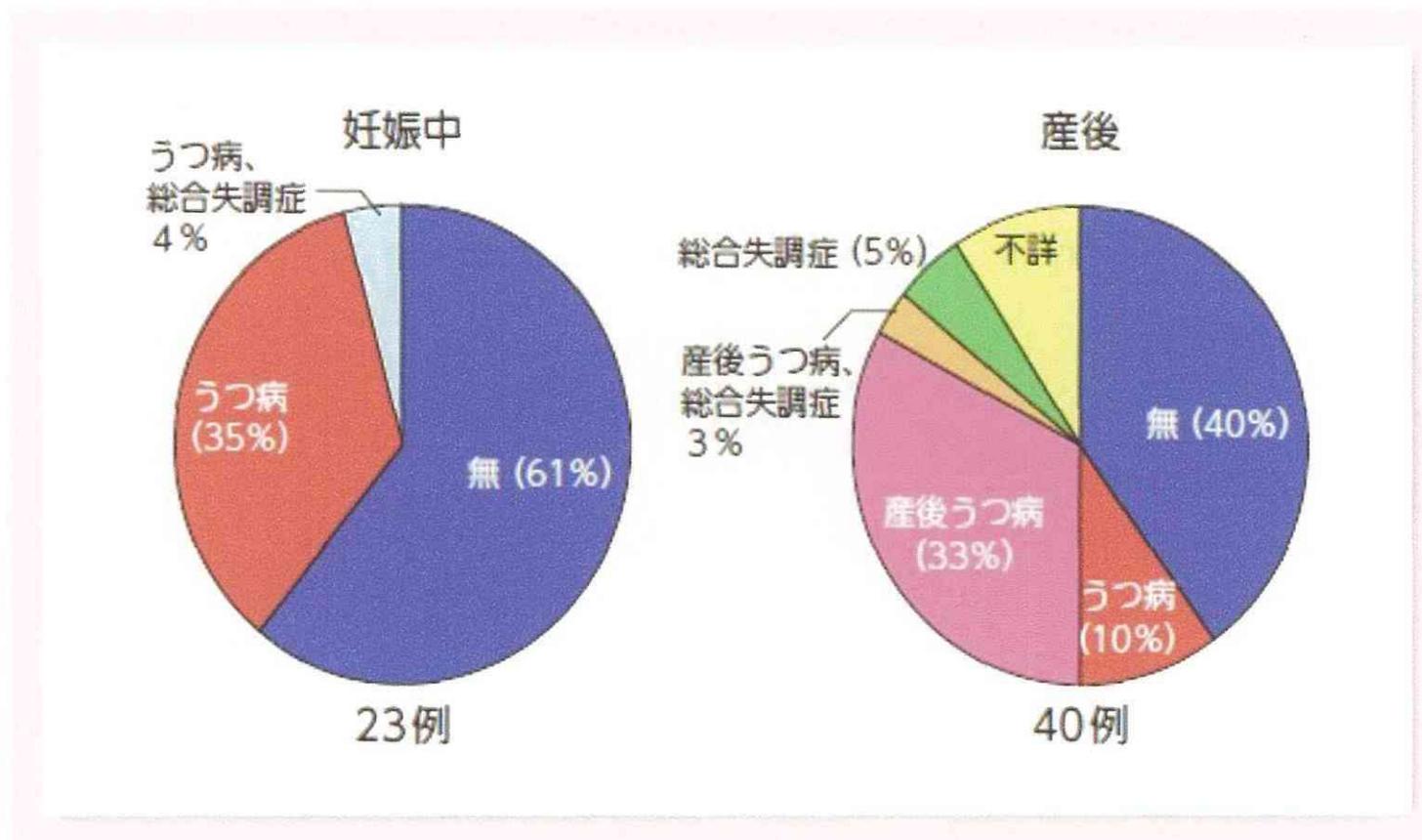




# 産婦人科医・小児科医・精神科医の 連携による、周産期うつ病対策



妊産婦の自殺と精神疾患 (竹田省：妊産婦死亡”ゼロ”への挑戦)

## ①妊娠前から精神疾患に罹患しているケース

精神科担当医により、精神症状悪化を防止するだけでなく、  
**患者が母親としての機能を果たしていくための支援体制づくり**が重要

## ②妊娠中もしくは出産後に新たに精神疾患を発症するケース

- ・妊娠中・・・ 妊娠早期から関わる産科医、助産師がいかに**早期に抽出** (EPDS: エジンバラ産後うつ質問票などを活用)し、精神科医療機関と連携できるかが重要
- ・出産後・・・ 生後1か月を目処に産科から小児科へのスムーズな引継が課題  
小児科は乳幼児健診や予防接種の機会を活用し、児の疾病予防や発達支援に加え、**母親の精神状態や育児状況の視点も含めた支援**が重要